

	重点目標	評価の観点	評価：達成度判断基準	達成状況（考察と改善方針等）
1	基礎・基本の確実な定着 ①つけたい力を明確に持った教育計画 ②見通しをもった校内研修と実践の充実 ③基礎学力の定着のシステムの充実	<成果指標> ・児童アンケートの以下3点の肯定的評価の平均 進んで発表している 友達や先生の話をしっかり聞いている きれいな字でノートを書いている	達成基準＝児童アンケートで肯定的評価が A：90%以上 (B)：70～90%未満 (75.3%) C：50～70%未満 D：50%未満	毎年ノートに関する評価が低く、ノート指導の見直しが必要。児童自身が自分の文字を前向きに捉えられるよう、ほめる指導を意識していく。
		<満足度指標> ・「難しいことでもできるように取り組んでいる」と答える保護者の肯定的評価	達成基準：保護者アンケートで肯定的評価が A：90%以上 (B)：70～90%未満 (83.3%) C：50～70%未満 D：50%未満	昨年同時期と有意な変化はないが、高い評価とも言えない。頑張っている児童の姿を保護者に伝えていくことは、もっとできるはずである。
		<努力指標> ・「研修課題を学年の実態に即して具体的に取り組んでいる」と答える教職員の肯定的評価	達成基準＝教職員アンケートで肯定的評価が A：90%以上 (B)：70～90%未満 (81.8%) C：50～70%未満 D：50%未満	昨年度と比較し有意な変化はないが、高い評価ではない。研修と実践を一体化させる研修計画と、それに関する職員の意識化が必要である。
2	豊かな人間関係作り・社会性の育成 ①道徳の授業の充実 ②児童の心の耕し ③生活指導の充実	<成果指標> ・「いま、学校は楽しい」と答える児童の肯定的評価	達成基準＝児童アンケートで肯定的評価が (A)：90%以上 (94.4%) B：70～90%未満 C：50～70%未満 D：50%未満	良好な結果である。この評価が維持できるよう、学習指導、生徒指導の両面から、児童が安心して、楽しく過ごせる学校づくりに努めていく。
		<満足度指標> ・「学校はいじめ・不登校のない楽しい学級づくりに努めている」と答える保護者の肯定的評価	達成基準：保護者アンケートで肯定的評価が (A)：90%以上 (93.8%) B：70～90%未満 C：50～70%未満 D：50%未満	昨年度と同程度の評価である。より高い評価をいただけるよう、未然防止のための積極的な取組を進める。
		<努力指標> ・「子どもの不安や悩みを理解し、個に応じた指導に取り組んでいる。」と答える教職員の肯定的評価	達成基準＝教職員アンケートで肯定的評価が (A)：90%以上 (92.9%) B：70～90%未満 C：50～70%未満 D：50%未満	子どもの心に寄り添うこと、一人一人に応じた指導することを、常に全職員で共通理解し、100%の評価を目指したい。

3	保護者・地域に信頼される学校作り ①開かれた学校 ②情報の公開 ③指導力の向上 ④教育公務員としての自覚	<成果指標> ・「学校は、子どもの事について気軽に相談できる」と答える保護者の肯定的評価	達成基準：保護者アンケートの肯定的評価が (A)：90%以上 (92.5%) B：70～90%未満 C：50～70%未満 D：50%未満	昨年度と同程度の評価である。保護者の一人一人と丁寧に接すること、積極的な相談の姿勢をもつことに、全職員で取り組む。
		<満足度指標> ・「教育方針や子どもの様子が学校・学級だよりやホームページ等で分かる」と答える保護者の肯定的評価	達成基準：保護者アンケートの肯定的評価が (A)：90%以上 (94.4%) B：70～90%未満 C：50～70%未満 D：50%未満	昨年度と同程度の評価である。今後は職員の役割分担を見直し、ホームページの更新回数を多くしていく。
		<努力指標> ・「学級だよりで、学級経営方針や児童の様子を保護者に知らせている」と答える教職員の肯定的評価	達成基準＝教職員アンケートの肯定的評価が (A)：90%以上 (100%) B：70～90%未満 C：50～70%未満 D：50%未満	学級だよりは積極的に出されている。保護者の方に手にとっていただけるよう、読みやすさや内容の充実をいっそう図る。
		<努力指標> ・「地域の人材や素材を活用した授業を取り入れている」と答える教職員の肯定的評価。	達成基準＝教職員アンケートの肯定的評価が A：90%以上 (B)：70～90%未満 (84.6%) C：50～70%未満 D：50%未満	地域人材、素材の活用は、学級担任の授業で積極的に行われている。この姿勢を後期も維持していきたい。
4	プロとしての自分を磨き、子どもに関わりきる教職員 ①安全安心な学校 ②適切な学習環境	<成果指標> ・「指導計画に基づいて、教材教具を適切に整備・管理・活用している」と答える教職員の肯定的評価	達成基準＝教職員アンケートの肯定的評価が (A)：90%以上 (91.7%) B：70～90%未満 C：50～70%未満 D：50%未満	アンケートで最上位の評価をした者は41.7%で、伸ばす余地がある。児童を引きつける教材の工夫、授業づくりを学校全体で進めたい。
		<満足度指標> ・「学校は、安全・快適な環境づくりに努力している」と答える保護者の肯定的評価	達成基準：保護者アンケートの肯定的評価が (A)：90%以上 (96.1%) B：70～90%未満 C：50～70%未満 D：50%未満	昨年度と同程度の評価である。安全・安心は学校として最も重要な点であり、今後も積極的な取組を進めていく。
		<努力指標> ・「学級経営目標や取組は、具体的に評価できる内容になっている」と答える教職員の肯定的評価	達成基準＝教職員アンケートの肯定的評価が (A)：90%以上 (100%) B：70～90%未満 C：50～70%未満 D：50%未満	最上位の評価をした者は半数。まだ伸ばす余地がある。担任自身が学級経営目標をふりかえり、達成状況を確認する機会を複数回とっていきたい。

5	多忙化改善・業務の効率化 ①働き方改革の意識 ②業務の効率化の推進	<成果指標> ・「自分の業務に見通しを持ち、切や時間を意識して取り組んでいる」と答える教職員の肯定的評価	達成基準＝教職員アンケートの肯定的評価が A：90%以上 B：70～90%未満 (85.7%) C：50～70%未満 D：50%未満	最上位の評価をした者は 35.7%で高い評価とは言えない。仕事への責任感、効率的な仕事の進め方等について、いっそう指導助言を行っていく。
		<満足度指標> ・「業務改善を意識し、業務の効率化を図るための工夫をしている」と答える教職員の肯定的評価	達成基準：教職員アンケートの肯定的評価が A：90点以上 B：70～90%未満 (85.7%) C：50～70%未満 D：50%未満	もっと高い評価を目指すべき指標である。各職員が担当する分掌事務のバランスを後期は見直したい。
		<努力指標> ・「効率的に業務を行うために、身辺（机まわり）を整理整頓し共有物の扱いにも気を配っている」と答える職員の肯定的評価	達成基準＝教職員アンケートの肯定的評価が A：90%以上 (92.9%) B：70～90%未満 C：50～70%未満 D：50%未満	肯定的評価の中でも最上位の評価は 26.6%と低い。職場環境の整備という観点から、整理整頓の取組を進めたい。